

「市民が主役のまち」「産業創造で活力あるまち」 「改革の継続で夢と希望のあるまち」を目指します



松浦市長
友広 郁洋

新年明けましておめでとう
ございます。

さわやかな平成23年の清々
しい新春を迎え、市民の皆さ
まに謹んで新年のお慶びを申
し上げます。

また、皆さまには日ごろか
ら、市政各般にわたり温かい
ご理解とご協力を賜っており
ますことに対し、厚くお礼を
申し上げます。

さて我が国の経済情勢は
「厳しい状況にあるものの、
一部では持ち直しの動きがみ
られる。」といわれております
が、地方においては一向に回
復の兆しが見られず、現在も
景気の低迷は続き、企業経営
や雇用環境など大変厳しい状
況にあります。

私は、本年の市政を担当す
るにあたり、その重責に身を

引き締めながら、松浦市総合
計画に掲げております「次代
をはぐくむ 産業創造都市
まつうら」の実現に向けて、
これまでの経験と実績を生か
し、官民一体となつて「市民
が主役のまち」「産業創造で活
力あるまち」「改革の継続で夢
と希望のあるまち」を創るた
め、全力を傾注してまいり
ます。存でございます。

本市の産業振興と交流人口
の増大による活性化には、西
九州自動車道の早期完成が最
も重要な課題でございます。

九州新幹線鹿児島ルートを九
州の新たな活性化を生む縦軸
と位置付けるならば、西九州
自動車道は福岡・佐賀・長崎
を結ぶ九州の横軸とも言え、
早期開通に向けて最大限の努
力をしてまいります。

本市の発展のためには、市
外から人を呼び込むことが重
要であることから、体験型旅
行事業、グルメ観光事業の更
なる充実と、本年春にオープ
ンする「福島温泉 ほの香の
宿 つばき荘」を観光拠点施
設とし、交流人口拡大による
地域振興に努めてまいります。
また、松浦市の豊かな農水
産品をはじめ、魅力ある自然
や景観をPRし、観光客誘致
を図るために福岡都市圏に設
置するアンテナショップの開
設に向けた準備を進めてまい
ります。

更に、活力ある地域づくりを
進める上では、定住人口の拡大
が重要な課題となりますので、
奨励金等交付制度のほか、子
どもを育てやすい環境の整備に
取り組んでまいります。

どうか本年も、市政推進に
対する一層のご支援とご協力
を賜りますようお願い申し上
げますとともに、市民皆さま
にとりまして健康で喜びと幸
せに満ちた年でありますよう
心からご祈念申し上げ、新年
のごあいさついたします。

行政、市民皆さまと手を携え 郷土松浦の発展に取り組みます



松浦市議会議長

木原 勇一

新年明けましておめでとう
ございます。市民の皆さまに

は輝かしい希望に満ちた平成
23年の新春を健やかに迎え
のことと心からお慶び申し上
げます。

また、日ごろから市議会に
対し、特段のご理解、ご協力
を賜っておりますことに、厚
くお礼を申し上げます。

さて、私も松浦市議会は、
昨年2月の改選より、新たに
19名の議員でスタートいたし
ました。市民の皆さまととも
に活力ある松浦市を創るため
に、市民の皆さまの声を市政
に十分反映し、市民本位の議
会活動を目指してまいりたい
と存じます。

一年を振り返りますと、国、
地方の経済対策により、日本
経済は世界同時不況の影響か
ら脱却を見せ始めたといわれ
るものの、先行きは不透明な
状況で、地方における雇用情
勢や中小企業の経営は依然と

して厳しい状況が続いており
ます。

このような中、本市におき
ましては、行財政改革を進め
る一方、将来像である「時代
をはぐくむ 産業創造都市
まつうら」を目指し、産業の
振興に努めるとともに、福岡
都市圏交流、体験型、グル
メ観光事業による交流人口の拡
大や、西九州自動車道の建設
を促進し、地域の活性化、市
勢進展が図られているところ
であります。

市議会といたしましても、
行政とともに、市民皆さまと
手を携え、郷土松浦の発展と
豊かな住みよいまちづくりを
目指し、誠心誠意取り組んで
まいりる決意でございます。

終わりになりますが、本年
が、市民皆さま、また、松浦
市にとりまして、飛躍する素
晴らしい一年となりますよう
心からお祈り申し上げます。
のごあいさついたします。

平成二十三年（卯年）

新年のごあいさつ

「人が輝く、産業が輝く、地域が輝く長崎県づくり」

に取り組めます

互いのまちの訪問は友情、親善を確実にし

未来への原動力となります



長崎県知事

中村 法道

新年明けましておめでとう
ございます。県民の皆さまに
は、お健やかに新春をお迎え
のこととお慶び申し上げます。

私も、知事に就任して初め
ての正月を迎え、県民の皆さ
まとともに、長崎県を活力に

溢れ、生きがいを持って暮ら
せる郷土にしていきたいとい
う思いで、県政の推進に全力
を挙げて取り組んでいく決意
を新たにしたいところです。

今年、これからの県政運
営の指針となる新しい総合計
画のスタートの年です。「人
が輝く、産業が輝く、地域が
輝く長崎県づくり」を基本理
念として、人を大切にする県
政の推進を基軸に据え、本県
の産業や地域を担う人づくり、

一人一人をきめ細かく支える
施策の充実、さまざまな産業
の活性化と雇用の場の創出、
住民の創意と工夫を生かした
地域づくりなどに、県民の皆
さまと力を合わせて取り組ん
でまいります。

県民の皆さまが抱えている
さまざまな思いや痛みに敏感
に対応した医療・福祉・子育て
支援などの施策は非常に大切
であると考えています。中で
も、乳幼児医療費助成の現物給
付については、今年4月から、
ほとんどの市町において実施
される予定です。これにより、
子育て家庭の負担が軽減され、
安心して医療を受けることが
できるようになります。

来る平成26年には、「長崎

がんばらんば国体」が開催さ
れますが、昨年は、内村航平
選手の世界体操競技大会での
日本勢初の個人総合2連覇や、
大久保嘉人選手のサッカー
ワールドカップのベスト16進
出などの快挙がありました。
あらためてこれらの栄誉をた
たえらるとともに、スポーツに
励む県内の子どもたちに大き
な夢と希望を与えてくれたと
思っています。

私は、県政の主役は県民の
皆さまと考えています。これ
からも可能な限り現場に向向
き、皆さまから直接ご意見を
お聞きしながら県政を進めて
まいります。そして、子ども
たちが将来ここに生まれ育つ
て良かったと思えるように、
夢と希望に満ちた長崎県づく
りに取り組んでまいります。

結びに、本年が、皆さまに
とりまして素晴らしい年とな
りますよう心からお祈りいた
しまして、新年のごあいさつ
といたします。



オーストラリア・
マッカイ市長

コール・メンダ

マッカイ市を代表いたしま
して、新年における松浦市民
の皆さまのご繁栄とご健勝を
お祈りいたします。

昨年は友広郁洋市長様をは
じめとする25人の市民親善訪
問団の皆さまをお迎えし、皆
さまとお会いできたことは大
変光栄でした。

また、25人の中高生の皆さま
と2人の引率の先生を受け入
れ、多くの友情が育まれたこと
も大変うれしく思っております。

このような継続的な訪問は
私たちの互いのまちの人々に
よる友情、親善そして関心を

確実にし、確かな未来への原
動力となります。

現在、本市では今年の市民
と青少年の派遣の計画に忙し
くしております。皆が松浦市
民の皆さんと新たに永遠の友
情を築くことを強く希望して
います。

私たちの交流は1989年
に始まり、21年目にしても
強いものへと成長しています。
2011年におきましても引
き続き繁栄することでしょう。
新年が皆さまにとりまして
安全で、繁栄をもたらす年にな
ることを願っています。